

IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2006 年 7 月号

＜平成 18 年度産業応用部門事業計画の要点＞

平成 18 年度の産業応用部門事業計画の要点は以下の通りです。

1. 活動方針（今年度の重点施策等）

平成 18 年度は、前年度に新体制でスタートした編修長と編修長補佐による論文査読システムが電子査読システムの稼動とともに本格的に実行され、研究会資料から論文誌への投稿論文の増加やスピーディーな論文文化を進めます。また、ホームページやニュースレターなどの広報活動を充実し、会員の満足度向上、産業構造の変化を踏まえた新分野への取り組みと会員の拡大などの活動を進めます。

(1) 継続的な部門組織改善による活動の活性化

- ・ 連係強化を図った技術委員会と編修委員会の体制およびエディタ制の導入により、研究会論文の年間 800 件のアクティビティを論文誌論文に結びつけます。
- ・ 部門誌の純粋論文誌化と編修広報委員会のニュースレター等の広報活動を推進します。
- ・ 電子投稿・電子査読システムの定着化を図り、査読期間の短縮化を進めます。

(2) 会員の満足度向上と活動基盤の拡大

- ・ 専門委員会の公募制と協同研究委員会の活用を推進します。また電気関連の技術者が急速に増えている産業応用分野に的を絞り、この分野から参加できる委員会、論文の特集号、シンポジウムなどを企画し、活動対象とする技術分野や産業分野の拡大を図ります。
- ・ 産業構造の変化や若い研究者に対応した技術委員会の再編を含め、研究調査活動の活性化、効率化を図ります。
- ・ ホームページの充実を図るなど、インターネットを通じた会員とのコミュニケーションを充実します。

(3) 部門別会計制度に向けた財政基盤の強化

- ・ 会員拡大に向けた広報活動推進と講習会の充実、退会者撲滅強化策を推進し、財政基盤の強化を図ります。
- ・ 研究会論文の予約数の拡大や魅力ある技術報告書作りの推進、部門誌有料購読者の拡大により収入の増加を図るとともに、無料ページの抑制などによる経費節減を進めます。

(4) 国際化の推進

- ・ 部門論文誌の英文化、海外論文委員の増強、SCI 登録への取り組みを推進します。
- ・ IEEE やアジアの学会との人的交流の拡充と情報交換を進めます。
- ・ 海外の関連学会又は関連部門との連携を推進します。

2. 部門大会・国際会議の開催予定

(1) 平成 18 年度部門大会：会期/平成 18 年 8 月 21 日(月)～23 日(水)、会場/名古屋工業大学(名古屋市)、内容/一般セッション、ヤングエンジニアポスターコンペティション(YPC)、オーガナイズドセッション、シンポジウム、特別講演、懇親会、子供理科教室、テクニカルツアーなど

[ホームページ <http://motion.elcom.nitech.ac.jp/jiasc06/index.html>]

(2) 平成 19 年度部門大会：大阪工業大学で開催予定(計画中)

(3) 部門主催の国際会議：2006/11/20-23, 9th International Conference on Electrical Machines and Systems (ICEMS 2006) Nagasaki, Japan.

[ホームページ <http://www.ics-inc.co.jp/icems2006/>]

3. 会員拡大へのご協力をお願い

部門会員数の推移と拡大目標

平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
6,520 名	6,386 名	6,301 名	6,400 名 (平成 19 年 3 月末目標)

平成 18 年度は、前年度にスタートした新体制の定着化を図るとともに、活動分野の拡大やスピーディーな査読システムの構築など、会員にとって魅力ある学会となるよう努めてまいりますので、会員拡大への一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

産業応用部門役員会 総務企画担当